

12月議会山脇議員の一般質問(3)



米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局藤田正雄 Tel.55-1128

放課後児童クラブの待機児童、保護者負担問題

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

山脇議員の12月定例会での一般質問の続きです。放課後児童クラブの待機児童の見込みや通知時期、待機者への誠実な対応等について一般質問しました。

待機児童は生きているか

Q、来年度の放課後児童クラブ募集で待機児童が出る見込みか、また保護者への通知はいつ頃出す予定か。
A、集計の結果、定員を超えているクラブがあります。今後、受託者と受入人数などの調整を行い、1月下旬には結果を通知します。
Q、応募したが、実際に入れない保護者に対して丁寧な説明と欠員等の連絡は引き続き行う必要があるが、どうか。
A、平成31年度からの各クラブの定員の見直しや、保護者負担金の改定等に伴い、保護者全員を対象に、制度変更に関するチラシをお配りし、待機となる可能性がある状況をお知らせしています。クラブによって平成31年度は待機児童が出る見込みですので、待機となる保護者には結果通知に併せて待機となった状況などの説明文書を同封し、御理解をお願いしたいと考えています。また、年度途中で入会が可能となった場合は、随時連絡してきたいと考えています。

すが、低学年を優先し、保護者の急な入院など特別な事情がある場合は入会について考慮しますので、御理解をお願いいたします。待機児童をなくす対策としては、平成31年度に大原児童クラブと坂田児童クラブで施設の拡充と新築を計画しており、今後も不足する受け皿の保に努めていきます。また、放課後児童クラブ運営
Q、保護者負担割合の国の考えは確かに2分の1だが、実際には、3年前の保護者の負担割合は42・9%で、年々負担割合は小さくなってきている。国も保護者負担軽減に動いている。一方、本市では来年度から年間利用者の負担は1か月9千円へと大幅値上げし、保護者のなかには批判と不安が広がっている。入会通知を受け取ったら、値上げに唖然とする保護者もさらに増えることだろう。そこで、市としても年間利用者8千円の負担でよかったのか、9千円にする必要があったのか検証し、必要なら改善策を講

営費補助金を活用した民間児童クラブの参入についても推進していきたい。

支援員の待遇改善は

Q、入会できなければ生活設計そのものを変えなくてはならない保護者が出てくる実態を、どう認識しているか。また、待機児童をなくす対策についてはどうか。
A、ほとんどのクラブで申込数は増加しており、クラブによっては、平成31年度に待機児童が出る見込みです。
Q、児童支援員の確保が喫緊の課題だが、来年度の賃金単価引き上げについて、どう考えているか。
A、主任以外の支援員につ

雑感

山脇議員談 今後さらに放課後児童クラブの入会者が増加していく。保護者にとつて入れないと、生活にかかわる事態が生じかねません。児童増等により、申込者が増えるの見込まれる地域には、放課後児童クラブの整備・拡充、新規参入を早急に図るべきです。また9千円に値上がった年間負担金は高いとの声が多く、長期休業利用者の負担と比べて差があります。当面、所得に応じて減額する措置などが必要です。